

回答者数（アンケート対象者数68人）	回答率
21人	30.88%

質問 1 意思疎通支援事業・日常生活上の困りごとや改善して欲しい事

※各回答数は重複あり

	回答数	具体例（要約）
・手話通訳者の派遣	7	市役所は平日のみで、土日休みなので大至急の手話通訳者を頼みたいのに連絡ができず間に合いません。直接手話通訳等派遣センターに頼んでもいいのか？どうしても困ったときの対応が分からないです。デイサービスの手話ができるスタッフさん、必要だと思いました。（なかなかいなかった！）（原文のまま引用）／手話通訳に依頼をしたら断られた、市に登録している通訳者が少ないように感じるとのこと。/せめて毎週してほしい/「通訳派遣依頼書の書式変更に伴い希望通訳者欄廃止」とありましたが、廃止の理由を知りたいと思います。ろう者からこの欄が無い事への不満や疑問、不便を訴える声が多く上がっております。/土・日曜、祝日の市役所が休みの時に通訳依頼の担当者への連絡手段が無いことが大変不安です。急病や事故、災害などの緊急時に通訳依頼が可能となる方法をお考えいただきたい。ろう者にとって手話通訳者は命を守るために絶対に必要な存在です。
・要約筆記者の派遣	3	実際には殆ど必要なし／センターに直接依頼できないか。
・手話通訳者の市役所への配置	4	常設できないか／月2回では足りない
・買い物	1	
・公共交通機関	3	事故があったときの車内放送が聞こえない。／電車トラブルの時のアナウンス
・民間サービス	1	銀行
・その他	5	病院／保護者会／日本語の映画やTV、美術館などの映像に字幕が欲しい／役所の窓口で音声認識ができるタブレットがあると便利／防災・避難時の案内（事前の説明含む）
回答なし	4	筆談や身振りなど伝える方法をやしてほしい。どのように相手を伝えられるように対応してほしい。（原文のまま引用）／手話通訳者がいなくても、手話ができなくても、速やかに対応してほしい。筆談でも身振りでも何か示すとか考えてほしい。どうすれば伝わるのかをよく考えて頂きたい。避難地でもstudyして下さい。（原文のまま引用）／手話ができないが、不自由でも暮らしている。／防災無線に気づかないのでSNS等での発信してほしい

質問Ⅱ 手話通訳の利用上限

	回答数	回数（月/回）・意見等
利用上限を設ける	2	月3回。月2回
東京手話通訳者等派遣センターの利用には利用上限を設けるが、市の登録通訳者の利用については現状維持	0	
現状維持	8	
その他（意見等）	5	手話は理解できない/補聴器で足りている/個人での手話通訳依頼はしていない。/文字起こしアプリ等のスマホアプリの使用推奨。役所の手続等は1対1なのでこういったアプリでも対応可能なと思います。（「UDトーク」や「YY文字起こし」のアプリはよく使っています。）/通訳内容によって派遣を決めてほしい。通訳者が少ないのが不安。/予約上限を設けて、上限を超えた申し込みは他の予約を優先する等が考えられる。/依頼内容が命にかかわる状況でも断られるときがあるかもしれない。センターでは解決策を通訳者と話し合う場はないのか。/依頼のFAXをしたあと、通訳者が決まるまで連絡が届ける（滞る?）のは不安/まずは市内で通訳者の育成からすべき
回答なし	2	FAXも速やかに！（原文のまま引用）